

「農ある暮らし～私の日常～」(6)

古屋富雄



## 節分・豆まき・厄払い

炒った大豆を升に入れ、奥の部屋から玄関へ  
「鬼は外」「鬼は外」と豆をまき  
お面を被った父さんを、外に追い出し戸を閉めて  
「福は内」「福は内」と豆をまきます  
我が家節分は楽しい、楽しい夕べです

外に出された父さんが、早く入れてと頼んでも  
「鬼は外」「鬼は外」を繰り返し  
そろそろ良いよと母さんの優しい声で戸を開けて  
「福は内」「福は内」を繰り返します  
我が家節分は楽しい、楽しい夕べです  
邪気を払って福を呼ぶ、節分・豆まき・厄払い  
邪気を払って福を呼ぶ、節分・豆まき・厄払い



## 確定申告

確定申告の時期が近づいています  
税務署から申告用紙が送られてきました  
野菜の売り上げは記帳済みです  
係った経費をまとめてみました

今年もマイナスの申告です  
農業を始めて3年もなるのに  
一生懸命働いたのに  
今年もマイナスの申告です

みかんの収量は去年よりは増えています  
稻の作付けは去年よりも増やしてあります  
出荷はすべて農協のみです  
振込額を付け合わせてみました

今年もマイナスの申告です  
販売量は増えているのに  
増えた分だけ期待をしたのに  
今年もマイナスの申告です

一生懸命働いたのに  
今年もマイナスの申告です



## 湯治場

農家の仕事が一段落した  
冬一週間の暮らしです  
大正生まれのおじいさんの話です  
一週間の食べ物を持って  
行きつけの湯治場に出かけました  
村の男たちの労をねぎらう骨休みです

さあ 着いた まずは 一杯  
元気な声が山から山へ響きます

自炊生活も手慣れたもので  
女房が居なくても大丈夫  
そんな冗談を皆で言っていました  
一週間の食べ物がそろそろ  
底をつき始めて来ています  
山で過ごした楽しい時間も終わります

さあ 仕事だ さあ 帰ろう  
元気な声が春の空へ響きます

おじいさんの通った湯治場は  
今はホテルになりました  
おじいさんの話しを思い出しています



## 春めき

ソメイヨシノより一足早く咲く桜  
春めきの蕾が膨らんでいます  
卒業式が近づいています

小学校の庭に植えられた春めきも  
ピンクのモヤがかかっています  
門出の春はもうすぐですね

螢の光  
仰げば尊し  
春めきは卒業生を送る桜

ソメイヨシノより一足早く咲く桜  
春めきの花が咲き始めました  
ほのかな香りが漂っています

盲学校へプレゼントした春めきも  
咲き始めたとの便りがありました  
香りで春を感じていますと

見えないけれど  
香りで分かる  
春めきは花の香りがする桜  
春めきは春めく頃に咲く桜

